

「再エネ100%宣言」

未来にわたり命とくらしを守る神奈川へ
岸 牧子必勝ニュース

平和で明るい神奈川県政をつくる会

部内資料 2023/3/21 NO.5

TEL : 045-624-8066 Fax : 045-624-8061

Mail : akaruikanagawa371@gmail.com

告示日 岸牧子候補横浜駅西口で出発式 80人

雨の中 桜木町駅頭で第一声 300人

涙の知事選への思いと決意に共感と激励の拍手

23日朝9時、県選挙管理委員会に立候補届け出、受付番号は1番。必要な貼付証紙等を受け取り出発式へ。さあ、いよいよ本番です。出発式は横浜駅西口。時折激しく降る雨の中80人ほどの支援者が集まった。まず「明るい会」代表委員住谷和典さん（労働者の会）から“気候危機を脱炭素・原発、再エネで新たな社会に転換、教育・福祉とも全国最低水準を県民のための県政に変える、戦争準備の大軍拡容



認から平和の準備をする知事に変える”ために“岸候補を県知事に押し上げよう”と訴え。応援スピーチを大塚要治さん（市民連合有志）、伊形順子さん（緑の党地域代表協議会議長）、井坂しんやさん（日本共産党県会議員団長）の3人から頂いて、いよいよ岸牧子県知事候補が県知事選挙にかける思いと政策を訴えました。

岸さんは“化石燃料、原発に頼らない「再エネ100%」神奈川の実現”“ベッド数、看護師数、医師数、保険師数など全国最下位クラスの

遅れた教育・福祉に力を入れる”“大軍拡・増税に反対”と基本姿勢を示し、“再エネ100%で循環型地域経済推進、教員数増、保育士増への支援、最賃1500円、消費税減税、インボイス中止、学校給食無償、学費の給付型奨学金制度、小児医療18歳まで無償、補聴器購入補助“などの実現をめざす考えを強調しました。最後に地元横須賀で9条の会や石炭火力発電所ノーの運動を進めるなか、若い人たち、生活を脅かされる高齢者、自営業の人たち、自衛隊員の家族に思いを馳せ、涙をこらえながらよりよい豊かなつながりを持つ社会をつくっていく決意を表明しました。駅前広場から共感と激励の拍手が沸き起こりました。

第一声 桜木町駅前

12 時からは桜木町駅前
前で告示「第一声」。だ
んだん強くなる雨の中
でしたが、300 人ほど
の聴衆が集まりました。
「明るい会」後藤仁
敏代表委員（鶴見大学
名誉教授）からは、会
の政策を全面的に実践
する運動の経験豊かな
岸さんで古い県政を変
えようと、三山弘美さ



ん（新婦人）からは自らの生き立ちにも触れつつジェンダー平等社会の実現を岸さんでと、伊形順子さん（緑の党地域代表協議会議長）からは、緑の党綱領と岸さんの政策は全面で重なる、応援すると、田村智子さん（日本共産党副委員長）からは、気候危機、教育・福祉・生活、平和の分野で現県政との対決点を解明し鮮明にしながら岸知事の実現を訴えました。

岸候補の第一声では、横須賀火力発電所が稼働すると年間726万トンのCO₂を排出し、これは神奈川県そのものの1割にも達すること、再生エネルギー100%の実現のための技術は95%が現在の技術で賄えること、そしてそれは農業とセットにした太陽光発電であったりして、地域で循環型の産業起こしにも役立つことなど具体的で実現可能な道筋を示すものでした。そしてやはり出発式と同様に、地元横須賀で9条の会や石炭火力発電所ノーマーの運動を進めるなか、若い人たち、生活を脅かされる高齢者、自営業の人たち、自衛隊員の家族



に思いを馳せ、涙をこらえながらよりよい豊かなつながりを持つ社会をつくっていく決意を表明しました。駅前広場から共感と激励の拍手が沸き起こりました。